

豚熱防疫措置と家畜防疫員の役割

紀北家畜保健衛生所
○山中克己 野口浩和
高橋康喜

【背景】

令和3年1月に管内養豚場で豚熱が発生。本県で約50年ぶりの事例。県及び町職員のべ400名を動員し、殺処分（267頭）等の防疫措置を実施。防疫措置の作業内容等について現場の視点から報告する。

【集合場所】

町立の体育館に設営し、動員者の受入れや資材置き場として運用。広い施設のため、運営しやすかった。

【現地防疫センター】

農場敷地内が狭いため、近隣の建設中の公道へ設置した。振興局が中心となり、設営や運営を行い、軌道に乗るまでは獣医師が指揮した。ここで動員者を4班に分け、主に主任級以上の県職員を班長に指名し、責任感を持ち統率するよう指示した。これにより農場において、家畜防疫員をトップとする指揮系統が上手く機能し、作業が円滑に実施可能となった。

【消毒場所】

農場出入口及び現地防疫センターの2箇所へ設置し、防疫措置関係車両を消毒した。今回の事例はワクチン接種地域のため制限区域が設けられず、消毒ポイントはなかった。

【農場概要】

農場は果樹園に囲まれた山間部中腹にある傾斜地にあるため、畜舎間に高低差があった。敷地内外の道は狭く急勾配で歩くしかない（図1）。畜舎は老朽化が目立ち、天井が低く、照明が少ないため内部は暗かった。肥育豚は発酵床で、母豚はコンクリートの床で飼育していた。殺処分等の作業を行える面積が非常に狭く、そこで40名以上の作業を指揮することが大きな課題であった（図2）。

【作業条件】

寒冷、アクセス困難、作業スペース狭小、水不足、電源不足等の悪条件が多いため効率化を図り難く、作業員の負傷リスクが高い状況であった。好条件として、満月で夜間明るかったこと、パワーショベルが農場にあったことなどが挙げられる。特に、畜主が重機の運転や豚の移動で活躍した。これらの条件下で家畜防疫員である獣医師が、どのように指揮をするかで、防疫措置の進み方が変わってくる。

【殺処分】

① 誘導・電殺・薬殺

まず、殺処分の方針を立てるため、畜主とともに考える。殺処分は出荷搬出用のスロープで実施することに決定した。その場所まで、畜主考案の空の農業用プラスチック製コンテナを利用した誘導法にて、畜主が豚を誘導した。豚が空コンテナを突破することがなく、誘導可能とは獣医師も知らないことで、農場に合った方法は畜主が一番よく分かっている。しばらくすると、この方法で獣医師と動員者だけで誘導できるようになった。殺処分方法は電殺機を使用した後、全頭薬殺により実施した。電殺機のスイッチの操作には動員者を専従させた（図3）。殺処分は獣医師の仕事であるため、このノウハウを後輩獣医師へ指導。コンパネで豚を囲う必要がない方針にしたことが順調にできた要因であった。

② 正確な情報管理

現場は混乱しやすい状況のため正確な情報管理が必要となる。殺処分した豚の記録表を当所で事前に作成し、豚番号とフレキシブルコンテナバッグ（フレコン）番号を記入した。これにより、情報の正確性維持と共有が可能になった。

③ 搬出

パワーショベルでフレコンをトラックへ積載し豚を搬出した。広さに余裕がなく、トラックがくると他の作業をすべてストップして積み込んだ。24時間体制で殺処分や搬出を行い、特に暗所かつ狭小な場所での人力による搬出や重機を利用する作業が多く、非常に危険であった。動員者は数時間で作業終了し、疲れ切っていた。そして、次の動員者たちが合間なくくるため、指揮をとる家畜防疫員に休息や交代がなく疲弊していった。

【封じ込め（飼料・排せつ物）】

豚がいなくなった畜舎を動員者が全身ほこりまみれになりながら手作業で清掃した。また、畜舎内に重機が入らないため、すべて手作業で数十トンの飼料や排せつ物等を運び、ブルーシートや消石灰を用いて封じ込め作業を実施した（図4）。多大な労力と時間がかかるため、この作業も上手く指揮しなければ、計画的に農場全体を仕上げることができず、家畜防疫員の監督能力が問われる。

【処分場（埋却）】

畜主の所有地である梅畑の立派な木を全部伐採して掘削するも、岩盤が原因で深さを確保できず埋却不可であった。そこで近隣の県有地に豚のみ埋却した（図5）。

【家畜防疫員の役割】

防疫措置は数百人以上が関わる仕事であり、現場監督者つまり家畜防疫員である獣医師の実力次第で、現場の成功・失敗が左右されると言っても過言ではない。安全、正確、効率、柔軟性が求められ、建設現場の監督に必要なスキルと同等のものが大切だと

考える。基礎となるのは、コミュニケーション能力、マルチタスク能力である。そして、行程の理解と計画立案、トラブル対応、明確な指示出し、各専門の学習、自分の体調管理等が必要である。日頃から獣医師個人として、これらのスキルを高める必要がある。